

(単位 分)

手 段	家族数		2 人		5 人		8 人	
	被 検 者		H	F	H	F	H	F
手 動			6.12	5.84	10.43	15.23	21.43	16.00
電 気			0.99	0.98	2.42	3.38	7.10	3.93

各要素作業の R.M.R. を用いて、2 人家族手動の場合の平均 R.M.R. を求めると、被検者 3 人の平均は 1.20 となり、全作業を通してエネルギー代謝を実測した場合の R.M.R. は 1.196 となった。前者の方法によるエネルギー消費量計算の確実性がみとめられる。

D-15 家事労働のエネルギー代謝に関する研究 (第 5 報)

—食事のあとかたづけ作業について—

茨城大教育 大森 和子

1. 食事のあとかたづけ作業の時間・エネルギー消費について、家族数の影響と電気皿洗機による効果を調べた。

エネルギー消費量計算は、各要素作業の R.M.R. (実測あるいは推定) を用いて行なうのであるが、この方法の妥当性を実証するために、全作業を通してのエネルギー代謝率を実測して、前者の計算によってえられる平均 R.M.R. と比較した。

2. 実際の作業は、家族数 2 人、5 人、8 人の各の場合について、手動と皿洗機使用によるかたづけを行なった。実験場所は茨城大家庭管理実験室で、ユニットキッチン、皿洗機 (シャープ) 等を用い、被検者は 2 人、時間研究はストップウォッチ法とした。エネルギー代謝実測には、被検者 3 人、作業は家族数 2 人、手動の場合とし、ダグラスバッグ法によった。

3. あとかたづけ作業の総所要時間はつぎのようである。